

# 林業アカデミー奮闘記

## 4期生間もなく卒業

4期生の研修が終わりに近づいてきました。それぞれの進路もほぼ決まり、就業に向けてインターンシップなどでより実践に近い林業を学んでいます。本年も町外（1人は県外）から林業アカデミーに入学し、日南町の林業事業体に就職する学生が現時点で2人おられます。ただ、今までと違い、二人とも比較的小規模な林業事業体への就職を目指しています。これから日南町の林業の担い手として頑張ってほしいです。

林業アカデミーでは、就業先の選び方やアドバイスを全力で行っていますが、基本的には本人が納得して決めた林業事業体へ就職してもらうようにしています。長く林業を続けるためには、よく考えて自分で決めた林業事業体に就職するのが一番です。県外にも数人が就職を予定しており、卒業後も日南町で学んだ一年を大切に林業に従事してほしいと思います。4期生12人は高専新卒者中心で、昨年の反省を生かし定期的にテストを実施し理解度を把握したり、独自のチェーンソー練習法を取り入れたり、工夫しながら研修を

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 になん中国山地林業アカデミー TEL 84-0070



行いました。

来年度の5期生は、定員を超える受験生のなかから10人が入学する予定ですが、残念ながら地元出身者はおられません。5期生は社会人経験者が多く、年齢層は少し高めになりますが、より良い実習ができるようさらに研修内容を改善したいと思います。

林業大学校は全国で25校を超え、まだまだ増加傾向にあります。今後ますます学生集めが難しくなると予想され、選ばれる林業アカデミーになるために学生の学習環境整備の充実を図る必要があります。今後とも町民のみならずのご理解とご支援をよろしく願います。

### 獣害対策 アップデート

### 第19回 日野郡の 珍動物？①

日野郡鳥獣被害対策協議会  
川野 風花  
【問合せ】 72-1399

これまで、冬になると屋根裏に入り込む居候動物の紹介をしてきましたが、今回、新たな仲間をご紹介します。

その名も「ハクビシン」。名前の通り白い線が鼻筋に入っているのが特徴の中型動物です。その見た目からアナグマと間違えられることもありますが、ハクビシンには長いしっぽがあり、どちらかというところとネコに近い見た目をしています。

手のひらには分厚い肉球があり、これをパッドのように使って家の雨樋や壁の隙間を登ることが出来ます。侵入口は通風孔や屋根の隙間などで、おおよそ直径6cmの穴があれば体をひねって侵入可能です。

屋根裏をハクビシンのねぐらにされるとどうなるのか？ですが、騒音被害はテンやアナグマに比べて意外と少ないようです。完全な夜行性で、縄張り意識も

ないため、ケンカも少なく人が起きている時間は静かに過ごします。ただ、それによって屋根裏をねぐらにされていることに長年気づかず、断熱材をボロボロにされていたり、たまりにたまった糞尿によって天井が腐り落ちたりするといった問題が発生します…。

屋根裏をハクビシンの寝床にされないためには、直径6cm以上ある侵入できそうな穴は金網などで塞いでしまうことが重要です。テンやアナグマなど他の中型動物と同じですね。

今回はハクビシンによる作物被害と、その対策方法についてお話ししたいと思います。

